科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位 (時間)	科目責任者
公衆衛生看護学方法論 I (保健指導)	2年次後期	必修	講 義	1 単位(3 0 時間)	佐藤美恵子 ※

授業概要

地域で生活する人々(個人、家族、集団)が主体的に健康課題を解決するための支援技術の1つである 『保健指導』を学ぶ。

到 達 目 標

- 1. 保健指導の定義、目的について説明する。
- 2. 保健指導の対象と対象の選定基準について説明する。
- 3. 個別指導、集団指導の方法と選定について説明する。
- 4. 保健行動と行動変容に関する理論の概要を述べる。
- 5. 行動変容に関する理論を活用した効果的な個別指導について理解する。

実務経験のある教員

佐藤美恵子:保健指導について、病院、市町村での経験を踏まえて教授する。

回	学 習 内 容	担当教員
1	1. 保健指導の基本的な考え方	佐藤美恵子 ※
	1)保健指導とは	
	2)保健指導の目的	
2	2. 保健指導の対象	
	1) 保健指導の対象	
	2) 保健指導の対象把握と優先順位	
3	3. 保健指導の方法	
	1) 個別指導	
	2)集団指導	
	3) 保健指導技術	
	4) 教育媒体の種類と特徴	
4-9	5. 行動変容に関する理論	
	1) 保健行動と行動変容	
	2) 行動変容で用いる理論	
	ヘルスビリーフモデル、自己効力感、変化のステージモデル、	
	計画的行動理論、ストレスとコーピング、ソーシャルサポート	
	コントロール所在	
10-15	演習:行動変容に関する理論を用いた個別指導の実際	

学 習 方 法

講義 グループワーク 演習

評 価 方 法

科目修了試験 レポート

先 修 科 目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕

公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル

医療保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に

松本千秋 医歯薬出版株式会社